

高岡市【富山県】 歴史文化基本構想を活用した 観光拠点づくり事業



■協議会メンバー…
高岡市日本遺産推進協議会／勝興寺まちづくり協議会／高岡市教育委員会

■構想策定年度…
平成二十三年三月
■補助事業期間…
平成二十九年九月一日～
平成三十一年三月三十一日

歴史文化基本構想の概要

文化財の保存・活用を通して、歴史や風土を学び、ものづくり文化をさらに洗練していくことを目指す。また、市民一人ひとりが高岡市の「人・ものづくり・文化」を担っているという意識を高めていくことを通して、市民が郷土に対する誇りを持ち、ものづくりの結晶が輝くまちを実現していくことを将来像とする。

観光拠点形成の方向性

- ・日本遺産認定、ユネスコ無形文化遺産登録を活かす環境整備
- ・北陸新幹線開業を契機とする高岡の多様な文化、伝統、産業の活用

観光に関する課題

- ・中心市街地から離れている伏木地区の歴史的価値等の魅力発信
- ・インバウンド対応として施設案内や文化財紹介の多言語化



事業概要

①伏木地区紹介VTR制作

情報発信

現在、平成の大修理中である重要文化財 勝興寺に代表される貴重な文化財の歴史的背景やその価値を気軽に知ること、より印象深い観光体験となるよう、伏木地区の魅力を美しい映像と多言語（日本語、英語、中国語、台湾語）対応のナレーションで紹介したVTRを作成。



■KPI 勝興寺ほか2館の来場者数：17,484人(H27)→18,009人(H31)

勝興寺を舞台とした座談会等の開催

普及啓発

勝興寺の大修理完工、全面公開へ向け、地元・伏木地区はじめ、市民の期待が高まる中、地域の宝を後世に継承していくため、勝興寺を想う市民による座談会等のユニークベンチャーを開催。当座談会等での意見・アイデアを参考に、次年度以降も観光振興をはじめ、地域住民が主体となった取り組みの創出を目指し、勝興寺を活用したイベント等を企画・開催予定。



■KPI 勝興寺ほか2館の来場者数：17,484人(H27)→18,009人(H31)



成果

① 「おもてなし」環境の向上

伏木地区の紹介VTRやユネスコ無形文化遺産に登録されている高岡御車山祭を体感できる会館案内の多言語化を図ることで、訪日外国人観光客に高岡をより楽しんでもらえる「おもてなし」環境が向上した。

② 文化財による観光地域づくり

勝興寺を後世に継承していくための手段として、勝興寺寺内町が観光客をはじめ、多くの人々が交流する場となるよう、観光地域づくりをけん引していく地域人材の発掘や体制の構築の足掛かりとなった。